

経営関連学会協議会
2012年度第4回理事会 議事録

日時：2013年3月10日（土）10：00～12：00

会場：明治大学駿河台研究棟 4階 第3会議室

出席者：野々山隆幸、西田安慶、林正樹、平野文彦、菊谷正人、石川昭、奥林康司、
風間信隆、亀川雅人、高橋誠、星野靖雄、平松一夫、渡辺達郎、堀田友三郎、
阿部信太郎、岩波文孝、片上洋、梅田勝利

【協議事項】

1. 事務局体制の強化について（西田副理事長）

(1) 事務局業務の委託について

2012年12月1日（土）の理事会で、高橋理事から発議された事務局業務の委託については、株式会社 UNIPH（ご担当三井田拓朗氏）に2013年4月1日から委託するよう提案したい。本協議会の運営補助【問い合わせ窓口業務、電子メール、名簿の管理・更新、加盟学会への mail での個別・一斉連絡、加盟学会へのメール便・郵便での連絡）、会費請求・督促状の印刷、出欠の取りまとめ（メール）、ホームページの管理】をお願いすることとする。業務委託費は1カ月30,000円（消費税別）とする。ただし、理事会・評議員会の当日補佐、メール便などは別料金となる。2013年4月1日から9月30日まででは、ホームページの管理を原則として行わないため、1カ月20,000円（消費税別）とする。

(2) 議事録の作成について

本協議会は幹事、理事長補佐、副理事長補佐の役職を設けている。これからは、議事録の作成はアルバイトでなく、上記の役職者をお願いするのが適当である。今回は、片上理事長補佐をお願いしたい。

以上、(1)、(2)の提案が異議なく了承された。

2. 理事会、評議員会の運営について（西田副理事長）

2013年4月1日から事務局業務を、株式会社 UNIPH（ご担当三井田拓朗氏）をお願いすることとなるが、議案の作成など理事会、評議員会の運営は4人の副理事長が協力して行いたいとの提案があった。この提案が異議なく了承された。

3. 2013年度活動方針、活動計画について（野々山理事長）

(1) 活動方針

- ① 第6回シンポジウムの開催
- ② 講演会の開催
- ③ 出版事業
- ④ ニューズレター第5号の発行

⑤ アンケート調査の実施

⑥ 加盟学会の2013年度全国大会開催期日一覧、統一テーマ一覧の作成

以上の活動により、本協議会の使命の発揮と加盟学会の連携強化を進めていきたい。

(2) 活動計画（西田副理事長）

① 第Ⅲ期第5回理事会 2013年6月2日（日）10時～12時

第Ⅲ期第3回評議員会 2013年6月2日（日）13時～14時

第6回シンポジウム「経営学研究と国際発信の強化」

2013年6月2日（日）14時30分～15時40分

※会場は明治大学（所在地）にお願いしたい。

② 第Ⅲ期第6回理事会 2014年3月9日（日）10時～12時

第Ⅲ期第4回評議員会 2014年3月9日（日）12時50分～13時40分

シンポジウム 2014年3月9日（日）14時

以上、①、②の提案が異議なく了承された。

③ 2013年度企画（案）について

a. 第6回シンポジウム「経営学研究と国際発信の強化」について

（星野理事、高橋理事）

このテーマについて見識のある方にパネリストをお願いしたいとの提案があった。シンポジウムの内容はテープ起こしをして文書を作成し、それを本人にチェックしていただく方法で文書化することとしたいとの考えが示された。

また、すでに実施した講演会やシンポジウムの文書化も早期に行うべきだとの見解があった。（奥林理事）

b. 構成学会の全会員を対象としたアンケートの実施を検討中である。（高橋理事）

4. 本協議会のガバナンスについて（西田副理事長）

(1) 役員選出の方法について

組織の安定と事業の継承が可能な役員選出方法を検討していただきたい。この件についてはガバナンスと規程の担当が連携して検討していくこととなった。

(2) 予算編成について

各担当に相談して作成したいので、4月末日までにメールで頂きたい。

以上、(1)、(2)の提案が異議なく了承された。

5. 次年度の理事会出席の際の交通費の支給について（西田副理事長）

第Ⅲ期第2回理事会交通費は、173,180円、

第Ⅲ期第3回（臨時）理事会交通費は、133,580円、

第Ⅲ期第4回理事会交通費は、203,880円で、

2012年度の交通費支給は計510,560円であった。次年度については、定例の場合は支給するが、臨時の場合は交通費は支給せず、弁当のみ支給したい。

以上が了承された。

6. その他

オンラインジャーナルの発行について

年2回のオンラインを他の紙面のジャーナル（英文）と共同で行ってはどうか

日本の学会誌は日本語がほとんどで、英語でも投稿できるが日本語の英語への翻訳能力の点で困難なので、この発行は困難だ、また費用が掛かるという意見があった。

反面、すべての構成学会を取りまとめて英文のオンラインジャーナルを出すなどが本会の使命ではないかという意見もあった。

Webで行うので費用が掛からない。またボランティアなので能力の提供は無料である。

各学会の優秀論文を加筆修正して英語化を個人負担で行い、オンラインジャーナルで投稿するという方法がよいという意見があった。

とにかく賛成して検討を始めましょうということで、了承された。

【報告事項】

- (1) 本日（3月10日）のシンポジウム「経営学に何を期待するか」について（風間理事）
- (2) 「経営学分野の参照基準」について（奥林理事）

他の分野に先陣を切って経営学分野が参照基準をつくった。これから新学部を作る際に、また高校教師が経営学について説明する際、参考になるので活用していただきたい。本会の成果である。
- (3) 構成学会全国大会開催期日・テーマ一覧（星野理事）

現在60学会が加盟している。未提出の学会に提出を促したい。
- (4) 評議員・加盟学会事務局名簿の整理について（西田副理事長）

資料の通り
- (5) 2012年度年会費の納入状況について（西田副理事長）

3月15日期限として未払いの学会に督促を行った。同じ学会が2回支払っている場合があった。日本商業学会はお返ししたが、日本経営学会は2013年度分として頂いている。
- (6) ニュースレターの発行について（林副理事長）

資料のように、構成案が作成された。
- (7) 出版事業について（平野副理事長）

平野副理事長から鋭意、編集作業を進めているとの報告があった。

以上